

令和8年度学校経営計画書

学校名 三次市立八次小学校

校長名 高下 節雄

I 学校の状況

学級数	21	児童数	478人	教職員数	46人
メールアドレス	yatsugi-e@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/elementary/yatsugi/				

II 教育目標

【八次コミュニティ・スクール】

やつぎを愛し、自律と貢献の志をもった児童生徒の育成

【八次小学校】

<校訓> やろう(行)【自主】 自分から進んで
つろう(連)【協力】 力を合わせて
きろう(鑽)【創造】 つくりあげよう

<教育目標> 進んで学び ともに伸びる

—【自主】進んで学ぶ子【協力】ともに学ぶ子【創造】学びを生かす子—

<魅力ある子ども像> 自ら考え、判断・決断し、行動できる「自律」した子ども

【キャッチフレーズ】

チャレンジ! 八次っ子

【八次校区で育成する資質・能力】

- ① 主体性：自分の意志や判断で行動を選択し、結果からより良い方向につなぐ力
- ② 表現力：自分の感情や思考を、相手意識をもって、分かりやすく伝える力
- ③ 協働性：お互いの強みを見つけ、自分の役割を意識し、共に課題解決に向かう力

III 使命・存在意義（ミッション）

- ◎ 自ら考え、判断し、決断し、行動できる「自律」した児童の育成をめざす。
- ◎ 学級づくりを基盤に据えた「知・徳・体」のバランスのとれた児童を育成する。
 - ・ 学校・学級の心理的安全性を確保し、子どもたちが安全・安心に学べる学校
 - ・ 子どもたちが夢や目標をもち、自ら伸びる学校
 - ・ 子どもを主語にした学校
 - ・ 地域とともにある学校（小中連携教育、八次コミュニティ・スクール）

IV 重点事項（努力点）

【学習指導と生徒指導の一体的な取組の推進】

1 人間関係形成能力の育成をめざす学級集団づくり

… 協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育て、自己の生き方についての考え方を深める

- (1) 話し合い活動を通して、自ら課題を解決する力、折り合う力の醸成
- (2) 自己肯定感・有用感の向上
- (3) 目標に向かって最後まであきらめない態度の育成

2 確かな学力の定着 … 児童が主役となる授業づくり・リアルな学びを支えるICTの効果的な活用

- (1) 主体的・対話的で深い学びのある授業づくり（個別最適な学びと協同的な学び）
- (2) 学びを支える「学び方」の指導
- (3) 特別支援教育の視点に立った学級集団づくり寄り添い

V 中心価値・行動規範

【キャッチフレーズ「チャレンジ! 八次っ子」】

【地域・保護者・児童から信頼される魅力ある学校】

〔 児童:学んでよかった 保護者:通わせてよかった
地域:一緒にやってよかった 教職員:勤めてよかった(やりがいのある学校) 〕

VI 現状分析

	プラス要因	マイナス要因
内部的要因	S (強み) 【学校】 ・職員は職務に対する向上心を持ち、若い力とベテランの力を出し合って責任を果たしている。 ・主任を中心に各部の取組が充実している。 ・本校の伝統的な取組を大切にしている。(選択と集中) ・ICT機器を効果的に活用している。 ・新体カテストの結果に基づき取り組んでいる。 【児童】 ・外でよく遊ぶ。 ・タブレット端末等ICT機器を扱うことへの抵抗が少ない。 ・児童会役員、委員会活動で児童会を牽引している。 【保護者】 ・PTA役員を中心に、PTA行事等、積極的に関わる人が多い。 ・学校に対して協力的である。	W (弱み) 【学校】 ・若手層の教員が多く、教育の「不易」に対する意識が薄い。 ・取組の継続、徹底について職員の意識に差がある。 ・規模が大きく、小回りが利きにくい。 【児童】 ・自己肯定感・有用感が低い。 ・学力が十分定着している児童が少ない。 ・読書量が少なく、物語等情景を想像する力が弱い。 ・指示待ちが多い。 ・基本的な生活習慣の確立(昼夜逆転傾向の児童が多い)。 ・長期欠席の児童が多い。 【保護者】 ・保護者同士のつながりが希薄。 ・年代の違いによる教育力の差やつながりの偏りがある。 ・メディアとの付き合い方への意識が低い。
	O (支援的要因) 【地域】 ・八次コミュニティ・スクールを中心に、地域等が学校教育に理解があり大変協力的である。 ・学習素材(自然・歴史・文化・施設)や人材が豊富。 ・幼保小中間の協力体制ができています。 【市教委】 ・適切な人的措置がある(学校支援員・介助指導員等)。 ・働き方改革への取組が進んでいる。 ・ふるさと三愛を愛する心を育むための体験活動が重視されている。 ・研修の機会が充実している。 (毎月1回「みよし結芽人育成研修」の実施) ・相談しやすい。 【県教委・国】 ・働き方改革の推進がされている。 ・人材育成への支援ある。 (研修機会の充実)	T (阻害的要因) 【地域】 ・地域が広く、児童の人数が少ない地域もあり、地域の人と児童とのかかわりに温度差を感じる。 ・子育てをめぐる社会の変化が激しい。 【市教委・県教委・国】 ・予算が削減される。



	強みと支援的要因を生かした活動・取組	弱みを克服し、阻害的要因を回避する解決策
主な取組	☆主体的・対話的に学ぶ児童の育成 ＊日々の授業における児童間の必然性のある対話 ＊AI(生成AI)を活用した意見交流の場の設定 ☆特別支援教育の充実 ＊校内支援体制の充実と日常的な研修・専門機関との連携・指導の工夫) ☆「地域とともにある学校」づくり ＊地域の教育力を活用した教育内容の充実(八次コミュニティ・スクール、学びの応援団等) ＊幼保小連携と小中一貫教育の充実	☆基礎・基本の学力の定着 ＊学習規律の徹底 ＊学びを支える「学び方」の指導 ＊朝の読書タイム等の充実 ＊読書環境の整備 ☆「自律」した子どもの育成 ＊児童一人一人にリーダーとしての責任と場を与え、やりきらせる ＊児童会活動の充実 ＊代表委員会と学級会活動をつなぐ話し合い活動の充実 ☆積極的生徒指導の充実 ＊特別活動を中心とした学級(学校)づくり ＊規範意識の育成 ＊粘り強い保護者啓発 ☆教育助成金の活用

VII 中期経営目標及び短期経営目標

	中期経営目標		短期経営目標	具体的な取組・方策	評価指標	目標値
確かな学力	確かな学力の定着を図る	研究部	主体的・対話的で深い学びのある授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○誰もが安心して過ごせる学級づくり ・集団で話し合い、合意形成を図る学級活動の充実 ○他者との対話を取り入れた算数科の授業づくり ・ルーブリックの活用 ・ICTの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童アンケート「支え合うクラスになっている」 ○算数科の単元テスト（思考・判断・表現） 	80% 7割以上の児童 80%
		教務部	主体的な学習習慣づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本の定着と自ら設定した課題を追求する家庭学習 ・学び方指導（家庭学習・・・家庭学習の必要性を指導する。） （自主学習・・・学年段階に応じて、復習、予習、興味があること、最後までやりきることを指導する。） ○児童が安心・安全に学習する環境を整える学習規律 ・時間を守る ・環境を整える 	<ul style="list-style-type: none"> 【児童・教職員アンケート】 ○家庭学習「学年段階に応じて、自主学習に取り組んでいる」「自分でやることを決めて取り組んでいる」 ○学習規律「授業開始時刻に遅れない」「授業開始時刻までに授業準備ができています」 	80% 80%
豊かな心・健やかな体の育成	主体的に行動する児童の育成	生徒指導部	居心地のいい学校（学級）づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○気持ちのよいあいさつをしよう。 ○いじめ見逃し0に取り組む。いじめアンケートを学期に1回ずつ実施し、面談を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 【児童アンケート・i-check】 「あいさつをしていますか」 「『おはようございます』、『こんにちは』を近所の人に使っていますか」 「クラスの中で、だれかが困っているとき、みんなが、その人を助けてあげよう、励ましてあげようとする雰囲気が、あなたのクラスにはありますか。」 	75%
			基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○学校や学級のきまりを守ろう。 ○身だしなみを整えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 【児童アンケート・i-check】 「学校の規則や、クラスで話し合って決めたことを、守っていますか」 	75%
信頼される学校	「この学校で学ばせてよかった」と思われる学校づくり	総務部	保護者や地域からの関心・信頼度の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的情報公開「YATSUGILETTER」等の定期発信、保護者連絡ツール「tetoru」の活用 ○コミュニティ・スクールを生かした教育活動の充実 ○働き方改革の推進専科指導時間の効果的な運用、成績処理等の事務処理時間の定期的な確保 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者アンケート積極的情報発信学校満足度 ○学校教育活動への参加 ○時間外勤務時間の削減 	90% 昨年度比 3時間減（平均時間）